

9月以降の事業報告をします

○敬老会祝賀会

今年の開催は、9月の最終日曜日の25日に開催しました。来栖地区の敬老会の対象(75歳以上)の方は、118名で、当日は47名の方にご出席をいただきました。また、88歳の米寿を迎えられた方が8名おりまして、山口市長から祝状が授与されました。誠にありがとうございました。これからは益々のご長寿をご祈念申し上げます。式典の後には、そば打ち研究会の皆様が用意してくれました天ぷらそばをいただきながら、フォークダンスの演技を観たり、南中学校音楽部のリコーダー演奏を聞いたりと楽しくひと時を過ごしていただきました。



○睡眠出前講座

10月1日(土)に笠間市社会福祉協議会から情報の提供をいただきまして、実施しました睡眠の出前講座です。講師に茨城県立こころの医療センター院長の土井永史先生を迎えての講演で、23名の参加者がありました。睡眠時無呼吸症候群は、日本人の5人に1人がなっており、脳卒中、高血圧、心筋梗塞などの原因になっていることも考えられるとのことでありました。心身の健康には質の良い睡眠が欠かせないようです。大変ためになった講座でした。



○稲刈り体験

睡眠出前講座の翌日 10 月 2 日(日)に、区長さん、子ども会、涸沼川三郷会の関係者方々のご協力をいただき、昨日までの天気が嘘のような晴天の下、5 月に田植えしたもち米の稲刈り体験を実施しました。今年も、子どもたち 27 名、保護者 16 名とたくさんの参加をいただき、良い体験となったようです。ご協力をいただいた皆さんありがとうございました。



○来栖秋まつり・交流会

11 月 3 日の文化の日に「来栖秋まつり・交流会」が開催されました。今年で 3 回目の「秋まつり・交流会」が来栖公民館、80 区、81 区、82 区、82-1 区の主催、来栖公民館事業の「菊の会」、「そば打ち研究会」、「パッチワーククラブ」、「ゴルフクラブ」、「囲碁・将棋クラブ」、「いきいきステップ来栖」や来栖子供会、涸沼川三郷会の皆様のご協力をいただき、盛んに来栖公民館で開かれました。

この日に合わせて、「菊の会」の皆さんは、1 年掛かりで丹精込めて咲かせた菊の鉢植えや切り花。すべて手作業で数カ月掛けて完成させた見事なパッチワーク作品。陶芸教室で小林政美先生の指導と、手心を加えていただいたお陰で、思っても見なかった出来栄の陶芸作品。子供たちとその保護者の方をより多く参加していただき、地域の方々と交流していただくことを願い、子どもたちから募集した図画や書道の作品。これらの芸術作品を展示して鑑賞していただきました。

また、子どもたちには、なかなか体験することが出来ない遊びをしてもらおうと、地元の NP の法人ノースマークの協力をいただき、スポーツ鬼ごっこで楽しんでもらいました。とても興味を持ってもらえたのではないかと思います。



笠間市社会福祉協議会来栖支部「来栖四つ輪の会」は、笠間市社協と連携を固め、来栖地区の住民が安心して暮らせる心豊かなまちづくりを目的としています。